

区分・種別	重要文化財(建造物)		
名 称	ほんはがけじゅうたく 本芳我家住宅 4棟（主屋、炊事場、産部屋・便所及び湯殿、土蔵）		
所 在 地	喜多郡内子町内子		
所 有 者	芳我 大輔 他	管 理 団 体	
指定年月日	平成2年9月11日		
解 説	本芳我家は、江戸時代後期に、内子木蠟^{ろう}生産の基礎を築き、天保11（1840）年にいたって現在地に移って木蠟生産を大規模に経営した。 敷地は、南北に通る道路の西側にあって広い面積を占める。道路に面して主屋が建ち、この上手（北）に取りつく土塀が敷地を囲み、また下手（南）には通用門を挟んで土蔵が妻を道路に向けて建っている。主屋の背後には土間に続いて炊事場、座敷側には中庭をへだてて産部屋、便所、湯殿が建つ。主屋の上手には広い庭園が築かれている。これらの背後には地盤が一段高く樹木が繁り、このなかに祠社がある。以上のように居住部分は表の道路の西側にあり、かつては道路の東側に製蠟の施設晒場があった。 主屋の建築は明治17（1884）年で、炊事場、産部屋、便所、土蔵も同じ時期の建築と考えられる。		

